**デイヴィッド・レイランド（指揮者）**

**David Reiland, conductor**

フランス国立ロレーヌ管弦楽団　音楽監督

ローザンヌ・シンフォニエッタ　音楽監督

ミュンヘン交響楽団　首席客演指揮者

　ベルギー出身。モーツァルトの指揮に定評があり、注目される。ザルツブルクのモーツァルテウム管で副指揮を務めた後、ミュンヘン響、コンセルトヘボウ管にデビューしてモーツァルト作品を指揮。ベルギー国立管やリエージュ・フィルなどの自国のオーケストラや劇場にも定期的に招かれている。

　2018年からフランス国立ロレーヌ管の音楽監督。デュッセルドルフ響とも定期的に共演、「シューマン・ゲスト」のポジションにあり、F.P.ツィンマーマンとともに2020/21年シーズンのオープニング公演に登場する。アジアでは韓国国立歌劇場に度々招かれているほか、2020年には杭州フィルにデビューしてポゴレリッチと共演、広島響では「春の祭典」を指揮する。ベルリン・コンツェルトハウス管にモーツァルト・プロで初登場し、ベルリン・コーミッシェ・オーパーでは新演出の《魔笛》に取り組む。

　録音も多く、ゴダールの作品やオーベールのオペラ《水の精》など、稀少な作品のCDをリリースしている。